

保護者様

つくばみらい市立小絹中学校長 宇津木 千恵美

学校評価アンケートの結果について

寒冷の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育推進にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、12月に実施した学校評価アンケートには、たくさんの保護者の方々に回答していただき、ありがとうございました。回答をもとに、生徒が学校生活に満足できる学校を目指して改善をしていきます。

つきましては、下記の通り報告いたします。

記

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
1 自己表現 (数値目標70%)			
(1) 授業で、自分の考えを表現できているか。			
・とてもそう思う・そう思う	70%	95%	43%
(2) 表現できている場面			
・自分の考えを書くとき	72%	78%	35%
・グループ活動するとき	60%	78%	29%
・ペアで活動するとき	37%	61%	9%
・発表するとき	33%	61%	33%
・分からない	0%	0%	35%
2 家庭での学習			
(1) 主体的に家庭学習に取り組んでいる。(数値目標70%)			
・とてもそう思う・そう思う	57%	45%	44%
(2) 教員の働きかけ			
・家庭学習の仕方を説明した	56%	82%	17%
・内容を例示した	37%	29%	11%
・生徒の努力を認めた	17%	59%	14%
・内容や量を見えるようにした	22%	12%	8%
・家庭学習の利点を説明した	37%	47%	9%
・分からない	0%	0%	60%
(3) 主体的に取り組んでいる家庭学習			
・学校から出された宿題	76%	89%	66%
・テストに備えた学習	65%	83%	52%
・塾から出された宿題	43%	61%	38%
・自分で決めた学習	43%	5%	34%

思考力・表現力の向上のために

授業ではこれまで通りの日常が戻り、1人一台タブレット端末を効果的に活用しつつ、グループ及びペア等の学習形態を工夫して指導してきました。

家庭学習については、ゲームやスマートフォン等の使用ルールを守りながら学習習慣を身に付ける必要があります。定期テストや実力テストの前だけでなく、日頃からの家庭学習について保護者の協力を得ながら手立てを検討し、主体的に家庭学習に取り組むことができるように指導していきます。

3 自己肯定感

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 自分の良さや可能性を知っているか。(数値目標 95%)

・とても知っている・知っている 50% 94% 50%

(2) どんな活動で知ったか。

・部活動 69% 72% 61%
・学級の集団づくり 49% 67% 16%
・教科の学習 28% 44% 11%
・二者面談 15% 22% 9%
・スクールカウンセラーとの面談 2% 22% 5%
・委員会・生徒会活動の活性化 18% 33% 13%
・分からない 0% 0% 22%

4 生徒の不安や悩みへの対応

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 生徒が困っているときに、手助けができていますか。(数値目標 90%)

・とてもできている・できている 88% 100% 56%

(2) どんな手助けをしているか。

・ふだんから声かけ 68% 89% 34%
・アンケートに記入された後に相談 26% 78% 4%
・困っていることを話されたときに相談 31% 72% 25%
・スクールカウンセラーと話す時間を確保 6% 50% 12%
・分からない 0% 0% 40%

自己肯定感の向上のために

1・2年生においては、自分ログを活用することにより自己管理の徹底、担任とのコミュニケーションの充実を図り、学校生活満足度を上げる努力をしています。また、生徒会や委員会活動においては、生徒の意見を取り入れた活動や企画を多く取り入れ、自己有用感・自己存在感の向上を図っています。

朝の活動や学級活動等でエンカウンターや SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)を継続して実施していきます。

今後も校内オンライン相談窓口を設置し、生徒が困難を抱えた際にはすぐに相談できる体制をつくっていきます。

5 規則正しい生活

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 規則正しい生活ができていますか。(数値目標 80%)

・とてもできている・できている	81%	95%	70%
(2) どんなことをしているか。			
・早寝・早起きをしている	49%	22%	40%
・朝ご飯を食べている	87%	78%	87%
・情報端末の制限	31%	17%	37%
・ゲームの制限	22%	22%	18%

6 運動への取組

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 運動に意欲的に取り組んでいるか。(数値目標75%)

・とても取り組んでいる・取り組んでいる	76%	89%	66%
---------------------	-----	-----	-----

(2) どんな運動に取り組んでいるか。

・保健体育の授業	75%	78%	44%
・部活動	63%	100%	57%
・自分で決めた運動	43%	0%	24%
・クラブチーム	18%	50%	17%
・習い事	20%	6%	13%

健康への意識向上のために

朝食は、9割近くの生徒が取っています。ご家庭でのご協力に感謝します。中には欠食の生徒もいるので、個別に声かけを行っていきます。

メディア利用時間については、ゲームやスマホ等の使用ルールが守られず、睡眠時間や睡眠の質にも影響することが考えられます。今後も保護者の協力を得ながら手立てを検討し、健康面への影響を指導していきます。

多くの生徒が運動に意欲的に取り組んでいるので、引き続き体育の授業や部活動でサポートしていきます。運動が苦手な生徒も楽しくできるように、体育の授業では今後も3人の教員を配置して細かな指導ができるようにしていきます。

7 将来のこと

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 夢や目標をもって生活しているか。(数値目標70%)

・とてもしている・している	63%	78%	55%
---------------	-----	-----	-----

(2) 親子で将来のこと話すか。(数値目標65%)

・とても話す・話す	69%	設問なし	75%
-----------	-----	------	-----

自分をスキルアップさせる力の向上のために

職業調べや職業体験、講演会を通して、仕事に必要なスキルや心構え等を身に付けていきます。進路説明会や進路講演会を継続して実施し、生徒が保護者と話し合う機会を設けていきます。それらを通して、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や姿勢を育てていきます。

8 「分かった!」「できた!」を実感できる授業

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 「分かった!」「できた!」実感しているか。(数値目標90%)

・とてもしている・している	84%	94%	40%
---------------	-----	-----	-----

(2) どんな授業か。

・体験を伴う活動	44%	67%	35%
・ミニテスト、練習問題	59%	56%	42%
・授業と関連する動画や写真を見た	33%	67%	16%
・実物が用意されたとき	36%	50%	12%

9 能力に合わせた活動

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 生徒の能力に合わせた活動があるか。(数値目標 85%)

・とてもある・ある	92%	95%	38%
-----------	-----	-----	-----

(2) どんな活動か。

・教員が生徒にアドバイス	28%	61%	15%
・友達と教え合う活動	72%	83%	21%
・自分でまとめる活動	31%	50%	11%
・個人差に合わせた活動内容	25%	22%	2%
・解く問題を選択できる	30%	22%	9%
・活動を生徒が選択できる	19%	17%	12%
・写真や動画を使った活動	36%	39%	8%

自分で行動できる力の向上のために

生徒が興味を持つ学習課題を設定したり、定着を図るための多様な練習問題を取り入れたり、課題を自分で解決し、まとめ、伝え合う活動を多く設定したりして、自ら進んで行動できる生徒を育てる工夫を行っています。

今後も1人一台端末を有効活用し、個別最適な学習と協働的な学習を進めていきます。

10 学校からの情報

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 学校からの情報を保護者に伝えているか。(数値目標 97%)

・とても伝えている・伝えている	76%	100%	77%
-----------------	-----	------	-----

(2) 有効だった手段

・スクリーン配信	80%	100%	88%
・ホームページ	48%	67%	45%
・朝の会、帰りの会	25%	61%	9%
・学年だより	30%	61%	55%
・学校だより	27%	39%	33%
・家庭訪問	8%	6%	0%
・分からない	11%	0%	4%

11 保護者との連携

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 保護者と連携して教育活動ができているか。(数値目標 60%)

・とてもできている・できている	63%	95%	66%
-----------------	-----	-----	-----

(2) 連携できているのは

・行事への協力	53%	94%	65%
・提出物の期限内の提出	29%	33%	18%
・保護者から相談を受けた	8%	50%	18%

・保護者へお願いした	9%	44%	7%
・学校への意見	5%	22%	6%
・分からない	38%	0%	23%

1.2 地域との連携

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 地域と連携して教育活動ができているか。(数値目標60%)

・とてもできている・できている	63%	89%	64%
-----------------	-----	-----	-----

(2) 連携できているのはどんなときか。

・資源回収・除草作業	51%	100%	70%
・地域の方がゲストティーチャー	19%	33%	19%
・生徒の情報が寄せられるとき	20%	33%	14%
・市や県、国の方がゲストティーチャー	20%	6%	11%

社会に開かれた安全・安心な学級づくりのために

スクリレの活用が定着し、情報提供をスムーズに行うことができました。今後も保護者向け文書のデジタル化を進めていきます。

コロナウィルス感染症が5類に移行され、幅広い教育活動を実践することができるようになってきました。今後も感染症対策を行いながら、保護者や地域の方々のお力をお借りして、生徒の質の高い学びを実現に向けて努力します。